



小郡市立大原中学校だより

# 大為小積



令和3年 卯月 30日

第3号

校長 矢野 晴一

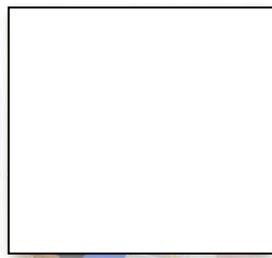
学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

## 「本年度のスローガンは『繋』です！」 生徒総会 開催

4月22日(木)、本年度の生徒総会が行われました。現在の状況を鑑み、昨年度同様、全校生徒が一堂に会することはできませんので、放送を活用して開催されました。

本年度の大原中学校生徒会のスローガンは、「**繋** ～つながり合う手と手、声と声、心と心～」です。

「つながりたい」  
手、声、心を  
通わせて  
つくりあげよう  
日々の学び  
晴一



このスローガンを目にしたときに、私自身の中で驚きと感動がありました。それは大原中学校の合言葉の一つである「つながり」と直接結びついていたからです。そして、「つなぐ」という動詞で表記されているところに、願うだけではなく、行動に結びつけていこうという思いがみえたからです。

このことは、本年度新たに設定した「**自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成** ※「考動」」という学校教育目標にも結びつくと感じました。



つながりをつくっていくための活動が制限されている今だからこそ、みんなで考えながら力を合わせて一歩ずつ前に進みたい、成長していきたいという願いが伝わってきます。

子どもたちによると、「**手と手をとり合い助け合う姿**」「**あいさつや呼びかけ等声と声を交わす姿**」「**心と心で通じ合い仲間とともに歩む姿**」をめざす姿として設定しているそうです。

子どもたちの中で「めざす姿」が、ぶれずに一貫していることに感心させられました。令和3年度も子どもたちの生徒会活動を応援していきたいと思えます。

## 「できることを少しずつ、少しずつ！」 ～ 部活動の取組 ～

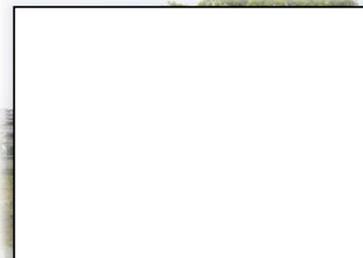
4月13日(火)から、検温や健康観察を徹底することを条件に、約1年ぶりに部活動の朝練習を再開することとしました。

朝から響き渡る子どもたちの声を聴くと、学校に活気がみなぎってくるような気がします。朝練習がはじまってすぐに、散歩をしてある地域の方から、「**子どもたちの声を聴くと元気がでます。うれしー!**」と声をかけていただきました。

ただし、現在も予断を許さない状況が続いています。先日、本年度の「市郡陸上競技大会」の中止が決定されました。春休みに毎日朝早く出てきて練習を重ねてきた子どもたちにとってはつらい報告でしたが、「今は我慢しなければならない」と自らを納得させていたように感じました。

制限は多いと考えられますが、子どもたちとともに、「**できることを少しずつ、少しずつ**」取り組んでまいりたいと思えます。

これからも、応援をよろしくお願いいたします。



# 「子どもたちの健やかな成長のために！」

## 令和3年度 授業参観・学級分会・PTA総会 開催



4月23日（金）、本年度のPTA総会が開催されました。授業参観・学級分会・総会と盛りだくさんでしたが、ご多用の中、127名（受付名簿数）も出席していただいたことに心から感謝申し上げます。

授業参観においては、本年度から子ども一人一人が手にすることになるタブレットについて、活用方法や注意点について親子で確認する場を設定しました。その後各学級での話をした後に総会を行い、本年度の事業について承認をいただきました。

本総会の開催にあたっては、4月20日（火）に資料の綴じ合わせをしていただいたみなさんや当日の朝に会場準備をしてくれた部活動の子どもたち、駐車場の準備をしてくれたみなさん、タブレット活用の授業を成立させるために事前の準備に奮闘してくれた先生方等、見えないところで支えていただいたたくさんの方のおかげで開催することができたのだということを忘れてはならないと思います。

### 【令和3年度大原中PTA役員紹介（敬称略）】

会長			会計					
副会長			会計					
書記			監査					
学校からは、会計として			（教頭）、書記として			（教務主幹）が入ります。		

本年度も、紙面決議を余儀なくされた昨年度同様、制限されることも多いと思いますが、子どもたちの健やかな成長のために、のリードのもと、学校と家庭、地域が「つながり」を大切にしながら、「積小為大（地道な努力の積み重ね）」の取組を行っていきたいと思います。みなさまのご理解・ご協力を心よりお願い申し上げます。

### 小さいけれど大きな感動 その3 リーダーの決意

新年度を迎えるにあたり、生徒会では一年間のスローガンや活動計画について、4月22日に行われる生徒総会に向けての議案作成の話し合いが続きます。

過去にどんなスローガンが設定されていたのをひもとくとともに、「こんな学校だったらいいな」という理想や「こんな学校にしたい」という決意のもとに、立ち止まったり、戻ったりしながら審議が長時間続きました。

提案するスローガン決めが難航する中で、生徒会長のさんが決意をこめて話してくれた内容が鮮明に残っています。

それは、「**どんなに苦しくても、絶対に途中で投げ出したいくない。決してあきらめたいしない。自分たちで令和3年度の大原中学校をつくっていく**」という言葉でした。

最上級生としての誇りを感じるとともに、きっとすてきなスローガンができると確信しました。子どもたちのことを全力で応援していこうと心に決めました。

